

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における保健体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

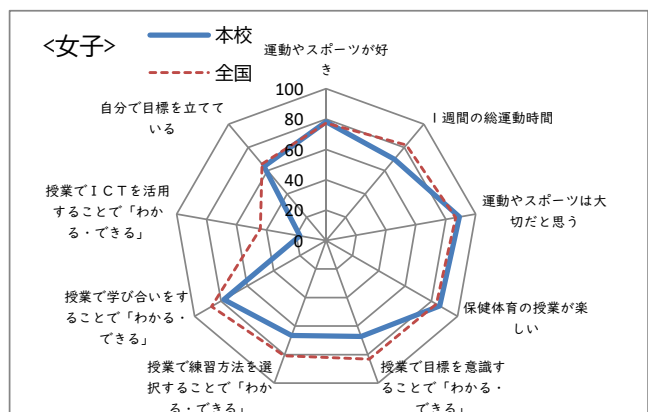
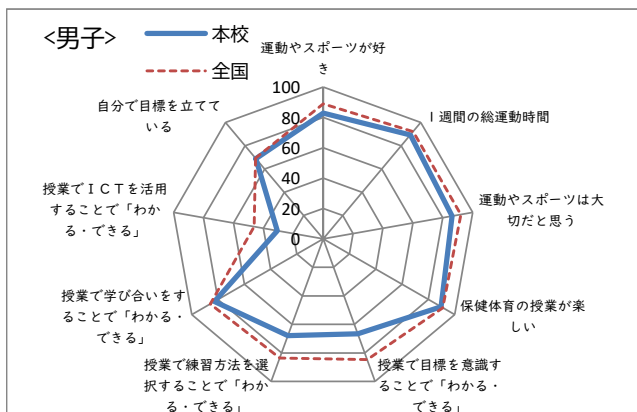
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.99	25.74	43.87	51.05	409.81	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
本市	29.89	26.05	45.62	51.43	411.48	79.38	7.98	200.49	20.64	42.89
本校全国平均以上の種目		○								

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.21	21.67	46.07	45.81	302.89	51.60	8.96	167.04	12.45	47.42
本市	23.48	21.58	47.11	45.64	303.38	50.85	8.95	169.09	12.41	48.27
本校全国平均以上の種目		○						○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校の運動習慣や生活習慣の現状として、「1週間の総運動時間」や「ICTの活用」「学びあい」といった項目で全国平均を下回っている。全国平均を上回っている項目として女子の「保健体育の授業が楽しい」の項目が挙げられる。全体的に全国平均を下回る項目が多いのが本校の課題だといえる。
 女子の「保健体育の授業が楽しい」という項目が全国平均を上回っていることは授業内での工夫や取り組みが数値に現れており、本校の成果と考えられるため継続してできるように努めていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で）

ICTに関する項目で全国平均を大きく下回っている現状を改善するために、ICTサポーターと連携して保健体育の授業でICT機器を活用する場面を積極的に設定していく。また生徒同士の話し合い活動など、友人と助け合ったり、教えあったりする活動を充実させて授業内で生徒がお互いに高めあえる環境づくりにも努めていく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

本校は1週間の総運動時間を増やすことを重点目標にして取り組む。総運動時間の増加のために現在も取り組んでいる昼休みのボール貸し出しの人数を増やせるような取り組みを保健体育委員会と共に進める。また小学6年生に対して入学前に部活紹介を行う場面を設定することで運動部の入部率も高まり、学校全体の総運動時間を増やせると考えられる。